

インスリン注射器の取り扱い時の注意について

事例1: インスリン 0.1mL を輸液に混注するよう指示されていたが、0.1mL を1単位だと思い込み混注し、患者が高血糖になった。

インスリン単位換算
1単位 : 0.01 mL
10単位 : 0.1mL
100単位 : 1.0 mL

インスリン注射液は、1mL が 100 単位です。準備の際、インスリンの指示単位が何 mL に相当するか必ず確認しよう。



事例2: インスリン 4 単位の投与の際に、4 単位は 0.4mL だと思い込み、ツベルクリン用注射器で 0.4mL(40 単位)を投与してしまい、患者さんが低血糖となった。

インスリンの準備には、必ずインスリン注射器を使用しましょう。インスリン注射器には必ず「単位」又は「UNITS」の表示がありますが、ツベルクリン用の注射器や一般の汎用注射器では、「単位」又は「UNITS」の表示はありません。

事例3: 1日 30 単位の指示のため1本 30 単位のインスリン注射器で上限まではかり、連日実施していた。誤って1本 50 単位のインスリン注射器を取り、いつも通り上限まではかり混注してしまった。

インスリン注射器には、単位の異なる複数の種類があります。複数種類を取り扱っている場合は、取り違えを起こさないよう採用種類の見直しなどを行きましょう。

詳細は医薬品医療機器総合機構 PMDA 医療安全情報をご参照下さい。

http://www.info.pmda.go.jp/azen_pmda/file/iryo_azen23.pdf

